

## 【令和6年度 公益社団法人全国公民館連合会 事業報告書】

### I 公民館の充実発展に関する事業

#### 【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」及び「ブロック公民館大会」を7地域区分(北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)で下記のとおり開催した(※)。公民館に勤務する全国の職員等を中心に、多数が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議及び大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

#### 《開催実績／全国公民館研究集会及びブロック公民館大会》

地区	会期等	主会場	参加者数
北海道	10/17-18	北海道東神楽町	241名
東北	11/14-15	青森県青森市	488名
関東甲信越静	11/7-8	新潟県上越市	550名
東海北陸	能登地震の影響で中止		--名
近畿	10/30	奈良県奈良市	550名
中国四国	10/17-18	香川県高松市	1,477名
九州	1/14-2/7	大分県大分市	1,034名
合計			4,610名

※東海北陸地区は能登地震の影響で中止。

#### 【全国公民館セミナーの開催】

各都道府県を代表する公民館長を中心に61名の参加により対面で実施した。後日、講義等の一部をYouTubeを活用したオンデマンドで配信した。今年度は以下に記載したプログラムで実施。各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

テーマ／「ツナガルシクミ」をみんなでつくる

開催期日／令和7年2月19日（水）～2月21日（金）

開催場所／丸の内MYプラザホール（現：明治安田ホール）

#### 《プログラム内容》

##### 施策説明

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

《講師》高木秀人（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

## シンポジウム

「公民館のツナガルシクミのデザイン」

《コーディネーター》

若林朋子（立教大学特任教授）

《パネリスト》

藤 浩志（美術家、秋田公立美術大学教授）、永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長）、宮城 潤（那覇市若狭公民館館長）

## ワークショップ

「ツナガル公民館をみんなで考える」

《ファシリテーター》

青山鉄平（文教大学人間科学部准教授）

## 事例研究

「公民館のツナガルシクミの実際」

《コーディネーター》

青山鉄平（文教大学人間科学部准教授）

《実践発表》

出口亮太（長崎市北公民館館長）、小松茂美（大阪狭山市立公民館チーフ）

## 【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】

### ① 相談助言・情報発信

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などの情報発信とともに、電話やインターネットを通じた個別照会に助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、講師派遣の相談対応、運営に役立つ情報提供などを行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。また、相談助言の裏付けとなる全国公民館実態調査を実施した。

### ② 国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力

社会教育団体振興協議会の運営を通じて実施される情報交換及び情報発信、より多くの協力者を求めて、国内における社会教育に関する理解を深めるための新規の加入促進を行うとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、公民館施設活用の促進について、積極的な働きかけを行った。

## 【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している公民館職員の資質向上や公民館活動の理解促進等を主たる目的とした研修や公民館の活性化につながる事業などに対して支援及び活動の共有を図った。また、公民館の「地域コミュニティの持続的な発展を推進する役割」をより充実するために明治安田生命保険相互会社との連携で行う『公民館のさらなる発展に向けた官民連携コンソーシアムの構築』を推進して、『MY定期講座』を全国の公民館に提供して公民館活

動を通じて地域住民に有益な活動を提供した。

- ・都道府県公連112事業に対して11,696,869円を支援した。

#### 【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度は紙媒体の広報活動を対象にした「全国公民館報コンクール」を行った。今年度に実施したコンクールの結果は以下のとおり。

(「第10回全国公民館報コンクール」の結果一覧)

種類	受賞館
金賞（4館）	<ul style="list-style-type: none"><li>・まつなが（松永コミュニティセンター／福井県小浜市）</li><li>・ふるさとだより よしき（吉敷地域交流センター／山口県山口市）</li><li>・「萩市須佐地域 公民館だより」（萩市須佐公民館／山口県萩市）</li><li>・たわらやま村民塾（俵山公民館／山口県長門市）</li></ul>
銀賞（2館）	<ul style="list-style-type: none"><li>・筆甫ふるさとだより（丸森町筆甫まちづくりセンター／宮城県丸森町）</li><li>・やまなみ（南信濃公民館／長野県飯田市）</li></ul>
明治安田生命特別賞（3館）	<ul style="list-style-type: none"><li>・みずとみ公民館だより（水富公民館／埼玉県狭山市）</li><li>・法の郷コミュニティだより（飯山南コミュニティセンター／香川県丸亀市）</li><li>・館報「てんま」（天満公民館／愛媛県四国中央市）</li></ul>
特別賞（2館）	<ul style="list-style-type: none"><li>・公民館だより（登米市豊里公民館／宮城県登米市）</li><li>・くにたち公民館だより（国立市公民館／東京都国立市）</li></ul>
奨励賞（6館）	<ul style="list-style-type: none"><li>・生涯学習センターだよりWAY・エスプKid's (ふれあいエスプ塩竈・塩竈市公民館／宮城県塩竈市)</li><li>・和合（余目第四まちづくりセンター／山形県庄内町）</li><li>・振援の郷 たかとり（高槻東部コミュニティセンター／福井県坂井市）</li><li>・公民館報まつもと（松本市中央公民館／長野県松本市）</li><li>・中央公民館だより“紡ぐ”（萩市中央公民館／山口県萩市）</li><li>・梅尾へようこそ！「春夏秋冬」（椎葉村梅尾公民館／宮崎県椎葉村）</li></ul>

#### 【「月刊公民館」の発行】

公民館の運営に参考になる特集テーマで、地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行し、これを広く供することで公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。今年度は以下の特集を組み発行した。また、誌面と連動した動画配信「月刊公民館ちゃんねる」は、公民館を訪問した取材動画、講義及び座談会などの動画を配信した。

(月刊公民館特集テーマ一覧／通巻803～814号)

4月号	公民館の仕事ガイドブック（上）
-----	-----------------

5月号	公民館の仕事ガイドブック（中）
6月号	公民館の仕事ガイドブック（下）
7月号	みんなで考える講座づくりのポイント（上）
8月号	みんなで考える講座づくりのポイント（下）
9月号	次世代につなぐ地域の未来（上）
10月号	次世代につなぐ地域の未来（下）
11月号	多様な学びを支援する公民館
12月号	公民館発！住民参加型の防災活動
1月号	デジタルで広がる公民館の可能性
2月号	魅力的な学びをデザインするアイデア
3月号	第10回館報コンクール結果報告

#### 【専門資料の発行】

新任職員や地域の人など公民館に携わる人向けに公民館を紹介した「よくわかる公民館のしごと」、災害時に公民館が避難所となり、地域の人たちと避難所を円滑に運営するための準備や被災したときの具体的な運営方法等を紹介した「公民館における災害対策ハンドブック」、公民館運営に必要な関係法令や通知通達、中央教育審議会の諮問及び答申などを紹介した「公民館必携」等の専門資料を出版社を通じて継続発行することで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

#### 【優良公民館等表彰事業】

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈することと、『月刊公民館』でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

#### 《優良公民館表彰及び優良職員表彰実績》

優良職員表彰	18名を表彰した。
優良公民館表彰	65館（うち6館が特別賞）の受賞館に記念の楯を贈呈し、『月刊公民館』で活動を紹介した。 【最優秀館】 紋別市中央公民館（北海道） 【優秀館】 平塚市立富士見公民館（神奈川県）、糸魚川市能生地区公民館（新潟県）、高岡市立福岡公民館（富山県）、岡山市立高島公民館（岡山県）、高鍋町中央公民館（宮崎県）

## II 公民館総合補償制度に関する事業

### 【見舞金制度事業の運営】

見舞金制度の中で公民館総合補償制度を運営し、健全な制度運営と適切な支払いに努め、以下の弔慰金及び見舞金の支払いを行うとともに、加入公民館に有益な情報及び資料提供を実施した。また、剩余金の一部を公益目的事業等の財源に充てた。

#### 《見舞金制度支払実績一覧》

種類		件数	支払金額	
行事傷害	疾病死亡弔慰金	10 件	1, 000, 000 円	(205 件) 11, 148, 000 円
	疾病入院見舞金	28 件	1, 448, 000 円	
	特定災害見舞金	34 件	2, 050, 000 円	
	地震特別見舞金	133 件	6, 650, 000 円	
職員災害	職員死亡弔慰金	14 件	1, 400, 000 円	(183 件) 8, 494, 000 円
	職員入院見舞金	169 件	7, 094, 000 円	
合計		388 件	19, 642, 000 円	19, 642, 000 円

### 【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料（団体災害補償保険等の保険料）相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

## III その他の事業

### 【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時にヨシ模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹にかかるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために各種表彰を行った。

今年度の表彰実績は以下のとおり。

#### 《永年勤続職員表彰、功労者表彰、公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	194名
功労者表彰	11名
公連勤続職員表彰	0名